

高校生読み聞かせサポーター養成講座  
～名古屋市志段味図書館と菊華高等学校保育・福祉コースの連携事業～

志段味図書館 大橋美紀子

1. 事業のきっかけ

志段味図書館において高校生さん到手話のおはなし会に参加していただき絵本を読んでもらった時、「こうしたらもっとよくなる」という点が多くあったため、図書館から講座の開催を提案。両者の話し合いの結果、全3回の講座を開催することとした。

2. 開催へ

2022年11月28日(月) 保育・福祉コースの1年生2クラスさんに第1回目の講座を開催。手応えを感じた高校側から2年生さんにも開催の依頼があり、2023年2月22日(水) 保育・福祉コース2年生2クラスさんにも第1回目の講座を開催。

3. 開催内容

1コマ50分の内訳は、司書からのおはなし(20分) 実際の読み合い(20分) 司書2名から手話での絵本の読み聞かせ(10分)

3. 1 司書からのおはなしでは、『いないいないばあ』『もこもここ』『ごぶごぶごぼごぼ』を例に、赤ちゃん絵本の特徴など。また、『いちにのさんぽ』を例に、成長発達について。『はらぺこあおむし』を例に絵本の持ち方・めくり方の解説。
3. 2 実際の読み合いでは、4人グループに分かれてもらい、実際に一人ずつ読んでもらう。残りの3人は赤ちゃんになったつもりで聞く。代表2名に前に出てきてもらい、クラス皆の前で読んでもらう。使用する本は、人数分、事前に図書館側で選書したものを団体貸出して対応。
3. 3 司書2名で『月ようびはなにたべる?』を歌と手話で読み聞かせ。

4. 今後の展開

基本は第2学年を対象に、全3回の講座を行い、修了者には、菊華高等学校保育・福祉コース内に設立された一般社団法人地域福祉活動協会にて「受講証」を発行し、本事業の発信と普及に努める。全3回の内容は検討中だが、第1回「赤ちゃん絵本」第2回「口伝えの文芸～昔ばなしとわらべうた～」第3回「紙芝居」を検討。

4. 1 2023年3月11日(土) 第1回目を受講した高校生有志に志段味図書館内おはなし会で実地の場を提供する。
4. 2 2023年4月からは、新たに受託の決まった、地理的により高校と距離の近い守山図書館で連携をしていく予定。守山図書館において、年4回日曜日に、定期的に高校生さんによる読み聞かせの場を提供する。